

「離島お天気教室」のご案内

1 教室開講の主旨

日本気象学会沖縄支部では、例年、気象知識の普及や防災気象情報の周知のために、気象講演会やお天気教室、シンポジウムなどのイベントを開催（後援含む）しています。

しかし、開催地のほとんどが沖縄本島、宮古島、石垣島となっており、沖縄県内にある多くの離島のうち、小中学校を有するおよそ40の島に対してはイベント開催の機会が少ない現状となっています。

そこで日本気象学会沖縄支部では、これら離島の小中学校生徒に対する気象知識の普及を進め、さらには生徒や教職員等一人ひとりが身近な自然災害から身を守るための安全知識の普及を目的として、沖縄気象台と共催して“離島お天気教室”を開催しています。

講師には気象予報士または気象台の職員を迎え、内容としては、生徒対象のお天気教室や災害から身を守る知識、簡単な機材を用いた実験（竜巻発生装置や雨粒発生装置等）、教職員対象の防災気象情報の解説や生徒を気象災害から守る助言、等ご要望も踏まえアレンジします。

2 講座内容等

(1) 対象及び内容

生徒・・・簡単なお天気教室です。気象による被害にあわないようにするための知識等に関する講演（1時間程度）。お天気教室の内容を理解するにはおおむね小学校5、6年生程度以上の学力を要しますが、低学年の場合でもわかりやすいように説明します。

（雲のでき方、雨の降り方、台風の怖さ、天気予報のでき方、大雨や洪水、がけ崩れなどから身を守るために・・・）

パワーポイントによる説明、簡単な実験等を交えながら進めます。

教職員・・・防災気象情報の解説、防災気象情報の伝達や、生徒を気象災害から守るための助言等、質疑応答形式で進めます（1時間程度）。

※対象学年・時間等、あくまでも目安です。いかようにも対応いたします。

また、住民の皆様のご参加も歓迎いたします。

3 開講に関する準備等

- (1) 講座への参加はすべて**無料**です。
- (2) 講座開催のための会場（体育館等）、プロジェクターを投影するためのスクリーンあるいは白系の壁等のみご準備くださいますようお願いいたします。
- (3) 講師は4名程度で行います。講師等に対する謝金、交通費等一切不要です。
- (4) 開催日は平日で休日でも対応可能です。対応可能な講師を派遣いたします。
- (5) 開催時間帯もご相談ください。交通機関の関係で講師に島内での宿泊が生じても構いません。

4 お申し込みについて

お申し出ただけで結構です。学校側で必要な手続きがございましたらお知らせください。

【日本気象学会について】 <http://www.metsoc.jp/>

日本気象学会は、気象学の研究を盛んにし、その進歩をはかり、国内および国外の関係学会と協力して、学術文化の発達に寄与することを目的とし、研究会講演会の開催、機関誌の発行、その他の図書の刊行、研究の奨励と表彰等の事業を行っています。

北海道、東北、関東、中部、関西、九州、沖縄に支部を設けており、地域に根ざした活動を行っています。

連絡先：

沖縄気象台防災調査課内 日本気象学会沖縄支部事務局

住所：那覇市樋川 1-15-15 那覇第一地方合同庁舎

担当：田村 弘人 (TEL:098-833-2186、E-Mail:hiroto.tamura@met.kishou.go.jp)